

令和3年度 全国保健所長会研修会 開催要領

「新型コロナウイルス感染症対応を超えた未来をさらに見据えて」

ネット社会にどう対応するか “住民と保健所との協働のために”

1. 趣 旨:

昨年度の研修会ではリスク・コミュニケーションについて学び、新型コロナウイルス陽性者の公表の在り方や感染予防の伝え方（ゼロリスクではない中でのリスク軽減など）の難しさを議論した。その後も、新型コロナウイルス感染症対応が継続し、さらには感染拡大の規模が大きくなっている中、新興感染症である新型コロナウイルス感染症に関しては、さまざまな情報がメディアに加えてSNS（Social Networking Service）上に溢れ、その情報の取り扱いに苦慮する場面も多い。全国的にみると、保健所長は必ずしも行政経験が長いわけではない、ひとりで複数か所の保健所長を兼務するほど人員が不足している、などさまざまな背景の中で配置されている。その結果、医師としての相談相手を探すことが難しい、保健所内に存在する医師であることのモチベーションを保ち続けることに困難を伴う場合も存在する。しかし、私たち保健所長にとって新型コロナウイルス感染症対応を経験していることはさまざまな意味合いで前進することができるよい機会と捉えることもできる。今年度はネット社会との向き合い方について考え、効果的に活用できるように意見交換する。

なお、社会医学系専門医協会指導医講習会を研修会終了後に開催する。

2. 日 時：令和4年1月27日（木） 13：00～17：05

3. 開催方法：Zoom ミーティングを用いて開催

運営事務局をAP 東京八重洲12階に設置

4. 対 象：会員および本庁、保健所に勤務する行政医師（先着300人）

*上記対象を優先で受け付けるため、他の部署に勤務する行政医師に関しては参加可能な場合のみ事務局より連絡する。

5. 概 要：詳細は別添のプログラムの通り。13：00～15：50

○COVID-19のこれまで、そしてこれから

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長 尾身 茂

○新型コロナウイルス感染症対策の最新トピックス

講師：厚生労働省 健康局長 佐原 康之

○ソーシャルメディアと新型コロナデマ

講師：東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 教授 鳥海 不二夫

○SNS（Social Networking Service）の活用を始めて

講師：墨田区保健所 所長 西塚 至

○総合討論

◆社会医学系専門医協会 必須講習：指導医講習会 16：00～17：00

講師：全国保健所長会 公衆衛生医師の確保と育成委員会 委員 村松 司